

平成 27 年度第 1 回白井市立図書館協議会（概要）

1. 開催日時 平成 27 年 7 月 15 日（水）14：00～16：30
2. 開催場所 白井市立図書館 2 階 研修室 2
3. 出席者 委員 吉井会長、吉田副会長、渡辺委員、中澤委員、平塚委員、尾形委員、高花委員
事務局 小松文化課参事、黒澤図書館長、鎌田副主幹、内山主査、芳賀主査補
4. 傍聴者 無
5. 報告 (1) 図書館協議会の役割
(2) 図書館概要
(3) 平成 26 年度図書館事業実績報告について
(4) 平成 27 年度図書館事業計画について
(5) 蔵書点検の結果及び対策について
6. 協議事項 (1) 祝日開館について
7. その他
8. 配布資料 1. 会議次第 等
2. 平成 27 年度しろいの図書館年報
3. 文化センターだより 6・7 月号
9. 議 事 以下のとおり

事務局 会議に先立ち、小松参事から図書館協議会委員の委嘱状が新委員に交付された。続いて、開会の後、新委員より自己紹介があった。その後、会長および副会長の選出を行い、会長に吉井信行委員、副会長に吉田朝子委員が選出され、それぞれの挨拶があった。また、白井市文化センター運営協議会委員には会長・副会長を選出した。

会 長 私たちは白井に住んでいる仲間である。図書館は知の中心・市の中心である。図書館協議会は図書館の応援団である。ぜひ 2 年間一緒に進めていきたい。図書館から十分な情報を得ております。報告事項や協議事項については、説明が事務局からあると思うのでよろしくお願いします。

事務局 5. 報告 (1) ～ (5) までを報告する。

委員 (3) 平成 26 年度図書館事業実績報告について
年報 P25 のサービス指標の入館者数は、図書館と各センター図書室を含んだ数なのか。また入館者数はどのようにカウントしているのか。

事務局 入館者数は、図書館のみをカウントしている。カウント方法はドアに設置してあるセンサーが反応して数えている。

委員 身長制限などはあるのか。子供も対象としているのか。

事務局	入口をさえぎる物をセンサーでカウントしているので、身長制限などはない。
委員	年報 P25「登録者数」について伺いたい。「市民のみの登録率」31.3%は、全登録者数のうち市民が3割ということでしょうか。今後祝日開館など市民向けにどのようなサービスをしていくか考える上で市外の方の利用率の方が高いように思えるため。
事務局	利用カードは有効期限を設けており、有効登録者数で計算してある。しばらく図書館を利用していない市民もいるので、実際は市民の半分は利用カードを持っている。
委員	市外の登録者が多いのではないかと。
事務局	過去に市外利用者が増加した際に利用を制限した経緯がある。現在は、市外利用者も落ち着いたので、隣接している市民への貸出しを再開している。当館に近い船橋市小室地区の高齢者の利用も多く好評を得ており、高齢者が安心して読書を楽しむ施設として、大活字本の収集などのほか図書館内の環境整備も行っていきたい。
委員	年報 P25 図書館サービス指標の登録率の31.3%というのは、白井市の全人口に対する登録者数ということでしょうか。
事務局	そのとおりである。
会長	白井の図書館が開館する前は、通勤途中の他市立図書館も利用していた。お世話になったので市外の方にも貸出して欲しいし、市民にはもっと登録して借りてほしい。
委員	0歳から利用カードを作れることを知っていれば登録者数は増えるのではないかと。
委員	学校図書室に人が配置されている市町は少ないが、白井市では配置されているので助かっている。
委員	学校図書室に職員が常駐できず、盗難が心配で閉めていた時代があった。白井では全ての学校に司書が配置されており有難いと思っている。
委員	(5) 蔵書点検結果について 旅行ガイドブックの最新号が、盗難対策で書庫に入っていることを利用者のすべてが知っているのだろうか。コンピューターで検索ができない人はわからないと思う。

事務局	ガイドブックの本棚に、最新号は書庫にあると掲示している。
委員	盗難に関しては、協議会からも厳しく対応して欲しいと要望を出しており、現在の対応になっていると思う。
会長	これからも協議会として多くの意見を言って、色々な対策を事務局に検討していただき、できるだけ開かれた図書館運営をしてもらいたい。
委員	信販会社などでは、貸倒率を予測して予算を組んでいると聞いたことがある。盗難防止のため書庫に置くより、図書館の活用にウェイトを置くなら閲覧機会を優先し、予算計上時に組み込んでおく考え方もあるのではないか。
委員	新刊本コーナーは館内のどこにあるか。
事務局	入口近くの児童コーナーとカウンター前の新刊本コーナーの2箇所になる。現在は、新刊本をほとんど開架に出しており、一部盗難対象になると思われる本や高額図書を書庫にしている。
会長	図書館に盗難のプロがやってくると新聞記事等で読んだことがある。
事務局	旅行のガイドブックは、価格の低い雑誌的感觉で盗まれやすいのではと考えている。
委員	白井の図書館は盗まれるから新刊書はすべて書庫にあるという噂を聞いた。市民のモラルが低いのではと残念に思っていた。今は全て書庫にあるのではないとわかった。
事務局	資料の紛失については、平成6年に開館してから毎年の蔵書点検で3,000冊くらいはあった。しかし、平成16年に4,300冊、平成17年に4,700冊と急激に増加し、それぞれ被害額1千万円を超えた。その紛失結果については、情報公開してきた。盗難防止システムの設置について検討したが高額なために設置できなかったことから、現状でできる対策として、ポスターの掲示、警察官の巡回、書庫に徹底して入れる等の対策を取ってきた。利用者にとって開架の蔵書の新鮮度は重要と考え、紛失が減少したことから新刊は金額や紛失の状況に応じて開架に出すようにしている。雑誌の最新号もまだ一部差し替えを行っており、利用者の方にはご不便だが、このまましばらく継続して取り組みたい。
委員	年報 P18 資料の購入計画について伺いたい。各センター図書室は独自で資料を購入しているのか？何ヶ月かに1回、購入資料を変えているのか。センターには同じ本しかないという意見も聞いている。

事務局	<p>図書購入は図書館が行っており、受入れ後センター図書室に配架している。随時購入しており、定期的な入替え作業は行っていない。出版年が古いもの、棚に入りきらないものなどを図書館書庫に移動している。新刊図書で人気のあるものは貸出されているから、利用者からするといつも資料が無いように感じるのではないか。</p>
事務局	<p>財政難により資料費が減っている。皆さんは、基本図書は別として、実用書類は何年前くらいだったら手にとって読んでみたいと思うか。出来れば5～6年で開架本は入替えたいと考えているが、購入冊数が減少しているので7～8年の入替えになっているのではないかと考えている。</p>
委員	<p>授業の教材の構成が変わっている。教科の中で図書館や本について、小学校1年では「本の題名」など各学年で教える内容がある。小学生は、1人10冊くらい読んでいる。白井では司書資格に加えて教員の免許を持った人が学校図書室に配置されている。文科省の学力テストで読解が必要とされるB問題で成績が向上している。高得点を取れる生徒は本が好きという結果がでている。</p>
委員	<p>それに追加して、親が本を読む家庭は子どもたちもよく読む。みんなが読むようになるとよい。白井では必要な資料を学校まで配送していただけるのでありがたい。学校と連携もよくできている。</p>
事務局	<p>子どもの貧困は、現在6人に1人が貧困であるといわれている。図書館では子どもの貧困は見えにくい。学校との連携をすすめ、子どもたちに公平に本がわたり、読書の楽しさを伝えていきたい。</p>
事務局	<p>6 協議事項 祝日開館について説明する。</p>
委員	<p>開館はありがたいが、職員の家族との時間が減ってしまうのは残念である。</p>
委員	<p>利用者は喜ぶと思うが、図書館職員の負担増にはならないのか。また開館することにより今までの図書館サービスへの影響はでないのか。 本庁職員は、いつ図書館を利用しているのか。</p>
委員	<p>案でよいと思う。職員の勤務体制は、今のままで大丈夫か。</p>
事務局	<p>月曜休館以外に2班制で半数が土日のどちらかを休んでいる。少子高齢化によって土日の利用が減り、平日に利用する人が増えている。利用者の状況も変わってきているので、対応できると考えている。</p>

参事	ハッピーマンデーが多いため、平成28年度祝日開館は9日間増加となる。職員管理という点では、月曜休館がよいのではないかと考えている。
委員	月曜日が雨の時に、行くところがなくて困ったという人もいる。
委員	印西・白井・柏の図書館を利用している。柏は祝日も開館していて便利であった。センター図書室も祝日開館するのか。
参事	テストケースとして図書館から実施することになる。
委員	月曜は、定期休館という意識が定着しているので、祝日でも休館でよいと考える。
会長	開館日が増えて資料費が減らされるのは本末転倒である。祝日開館はありがたいが、協議会の総意として資料費を減らさずに祝日開館して欲しい。
委員	その他 予算はどうしたら増えるのだろうか。
事務局	様々な機会に本を読むことの大切さや、図書館の役割の必要性について述べていただき支援していただきたい。
会長	新刊本の見せ方が大事だと思う。機械で検索していない人は、知らないのではないか。
委員	児童書も高齢者の施設に送ってもよいのではないか。
委員	学校への貸出など今まで知らなかったことがわかり大変よい経験となった。コンピュータを利用者サービスに活用するだけでなく、内部業務にも活用してはどうか。データを活用し加工・集計などの定型業務や分析など職員の業務効率化に活用することで負担軽減が図れるのではないか。
事務局	『絶歌』について別添資料のとおり事務局より説明。 については、委員のみなさまからの意見を伺いたい。
会長	図書館はよい仕事をたくさんしているのだから、市民や財政当局に説得性のある資料を作成してもらいたい。見せ方の問題である。図書館は白井の自慢である。 『絶歌』は、未来の利用者のためにも所蔵した方がよいと思う。
委員	私の子どもが同世代でとても関心があり、関連の本を読んだ。今回の本についても、私も図書館の所蔵にしたほうがよいと思う。

委 員	蔵書にするのには、制限があるのか。
事務局	資料収集要綱がある。利用者の方にリクエスト依頼をしていただくほかに、カウンターに立つ職員の経験が選書に活かされ、それが図書館の自立した判断になる。
委 員	夏休みは子どもたちが喜ぶようにスタンプラリーなどの行事をやって欲しい。
委 員	図書購入予算が減っている。館内またはホームページ上に寄贈希望などのページで利用者からの寄贈を募ってもよいと思う。
事務局	白井市に関する本や予約の多い本の寄贈についてHPや館内に掲示しており寄贈くださる方がいる。
委 員	本が好きになるのは小さいころからの読書によってである。
委 員	そういう意味でブックスタートは大切な事業だと思う。
委 員	ブックスタート類似事業で私たちボランティアが読み聞かせをしている時に、赤ちゃんはいろいろな表情や反応を見せてくれる。お母さんがその赤ちゃんの様子を見て絵本を読んであげようと思ってくださると私たちも嬉しい。
会 長	「祝日開館について」、『絶歌』収集について、協議会から了承を得た。
事務局	閉会。長時間にわたりありがとうございました。